

平成20年2月

澄川 崇 学位論文審査要旨

主 査 池 口 正 英
副主査 西 村 元 延
同 清 水 英 治

主論文

Dexamethasone interferes with trastuzumab-induced cell growth inhibition through restoration of AKT activity in BT-474 breast cancer cells

(BT-474乳癌細胞においてデキサメサゾン[®]はAKTの活性回復を介してトラスツズマブによる細胞増殖抑制効果を阻害する)

(著者：澄川崇、重岡靖、井岸正、陶山久司、山崎章、橋本潔、松本慎吾、
武田賢一、上田康仁、清水英治)

平成20年 International Journal of Oncology 掲載予定

審 査 結 果 の 要 旨

本研究は臨床において同時併用されることの多いトラスツズマブとパクリタキセル (PTX)、デキサメサゾン (DEX) の相互作用について、HER2陽性乳癌細胞株を用いて検討したものである。その結果、DEXはトラスツズマブの細胞増殖抑制効果を阻害することが示され、そのメカニズムとしてDEXがトラスツズマブによって抑制されたAKTの活性を回復すること明らかにしている。本論文の内容は、DEXがトラスツズマブとPTXの併用療法の抗腫瘍効果を弱める可能性を明らかにしたものであり、乳癌薬物治療における薬物相互作用の面で、明らかに学術水準を高めたものと認める。